

百人一首一讀笑

東澤瀛著  
自筆

乾



百人一省一讀笑

上

序

世傳定家借新古今之樸未精更作百  
人一首以托之說者遂以爲金料玉條  
也殊不知定家在十倉山菴粘色紙于  
障腰隨書古今和歌百首而其作之  
在中蓋喜在自娛耳故勿論古雅新奇  
豪逸婉麗雖率辭理均首熟有所異  
者之采之矣大抵世所謂精選者一



萬壽

一待黃帝白帝之不厭文不增但若  
云歸本年意子選正所以歸歐之不  
可已也作一讀笑

戊子魁秋澤寫山人識

百人一首一讀笑上



澤寫山人

天地天皇

御講天命開別命明天皇ノ

皇子中丈兄十孫又養我入  
庶權ヲ權ニ叛ヲ謀ニ帝中臣錘之ト謀  
入庶文子ヲ誅ニ社援ヲ安ス命明甫ニ  
後ニ天位ニ登リリ大ニ田弊ヲ革ム中宗ト  
十又

我乃田穰加理穗乃庶乃蓬袁阿良美

我衣手者露ニ濡津

後撰集女部ニ載ス我成豐之卷ノ目景ニ付テ  
下民ノ情ヲ俸ス洞ト三テ其ニ音遠我ノ幽

了才庚  
假ノ扇ナ  
蔓穂ニ通

雅ヤ十又三、譯云、中田幸種蓬屋老杖  
輝霜雨露ハルヒ 古昔衣

持統天皇チツツノミカド 御諱 皇ノ皇女天武ノ皇女也

後ツイニ天位ニ登ル

言多ハ白  
袴ハカマノ  
白キニ用ニ  
又通テ白袴  
作ル

春過夏未全氣ハルニシテナク 和志白袴乃衣保須

互布天壤香具山タガヒノチカラ 新古今其部ニ載又大和高市郡藤原ノ

山ヨリ十市郡香具山ヲ明テ作レニナリ  
帝天武ヲ助ケ反ラ禪リ且妙ノ千大津ノ皇子ヲ  
殺セシメテ其罪明ナラズ婦徳ニ染テ先ナラズ世  
此等篇暗ニ葛草ノ意ニ合テ尊フニ譯云春過  
夏未更地望山香山緑サ吹曝衣白

柳本人ヤナギノヒト 祖先父並ニ不詳文賦天皇ノ順ノ人  
世ニ歌聖ト稱ス柳本ノ孝昭天皇ノトキ

天ノ押帶日ノ命ニ賜フ也

豆昆莪乃山鳥濃屋乃志陀利尾乃長  
之夜素ツキ獨ひとり加生かへ寐ね云

拾遺集シツイ述部ニ載ス序歌ノ体層層シラシラニシテ

句ニテ頓トビノ落ス脂粉ノ氣ヲカラズ巧力ウツクシ保クイタルニ唐  
詩シヲ吟ウタ時トキ據とら夜長ノ言コトヲ譯云如山如桂カキ如蘭ラン  
尾待人不シ至来獨ひとり夜長

山部赤人ヤマベノアカヒト 祖先父並ニ不詳人唐ト並歌仙ト稱ス  
山部ヤマベノ頭カミ宗ムネノトキ伊豫ノ末目部スエノノミノ十捕

賜フ姓ナリ

ア三ノキハ山  
ノ杖舞  
山鳥ノヲシ  
ナリヲ並ニ  
長ノ杖  
舞

冬浦ハ、  
駿河産  
原郡ニ  
アリ、

田護乃浦仁、字知出、互見礼娑、白栲乃、富士  
乃高根尔、雪者降津、

新古今、冬部ニ載ス、右未、富士山ヲ呼スル、教ミラ、  
夕、此篇、富士ト高キヲトス、三、彫琢ヲ加ズ、格  
オソト、晴、正ニ妙、如ナリ、譯云、直至田、籠、觀、有、使  
芙蓉、天半、雪、支、寒、

懐丸大夫

祖先、父、並、不、詳、云、云、姓、人、抄、本、元、明、矣、  
皇ノ上、ナリ、ノ、人、ナリ、或、云、乃、削、ノ、道、鏡、ナリ、ト、  
決、ミ、テ、ナリ、ト、ナリ、ト、

○奥山仁、如、栗、踏、介、鳴、鹿、乃、聲、聞、時、叙、

秋者悲志哉

古今、秋、部、ニ、載、ス、高、人、説、士、非、ト、言、ハ、ズ、函、陽、ノ、音、  
オ、ソ、ト、人、ヲ、動、ス、秋、本、朝、ノ、道、鏡、ナリ、ト、命、セ、ズ、ナリ、明、ナリ、

譯云、响、ノ、同、時、動、秋、感、想、見、深、林、踏、華、鳴、

中納言家持

中納言、文、伴、藤、人、ノ、子、桓、武、天、  
皇、ノ、時、ノ、人、

鵲乃渡、勢、苗、橋、仁、於、致、霜、乃、白、表、見、礼、娑、

夜、寂、深、午、計、苗、

新古今、冬、部、ニ、載、ス、鳥、鵲、橋、ヲ、假、リ、葉、宮、ヲ、玉、  
宸、宮、ニ、比、ス、山、御、真、ノ、作、体、ヲ、得、タリ、譯、云、一、夜、不、眠、知、  
夜、深、鳥、鵲、橋、上、月、如、霜、

阿部仲麿

中務、大、輔、船、守、ノ、子、元、正、天、皇、ノ、  
ト、キ、下、道、ノ、皇、備、ノ、日、苗、学、生、ニ、テ、

入、唐、姓、名、ヲ、改、是、衛、ト、作、三、和、書、校、書、ト、有、テ、後、帰、  
朝、セ、ト、三、思、ニ、アイ、再、唐、ニ、還、テ、復、エ、ニ、卒、ス、

ワカ多系人  
仁カ義ア三  
振列和甲  
崎見下  
ヨ例上三  
三舟山 奉  
良ニテリ

和田乃原布里差計見礼皮加須加那苗三  
李白更晁卿詩云日本晁卿  
拜帝京片帆百里遠蓬蓬臺

明月不歸沈碧海白雲  
秋色滿蒼梧

新古今 羈旅ノ部ニ載、此歌ニテ仲磨故國ニ奉ニ云ラ  
老三 近人有詩云西風不與婦帆使、惟道晁衡是教  
其書コレヲ傳ス、歌旨、四ニテヨク整フ、アニ依詩ノ法ヲ  
以テ整移スモノカ、譯云一輪在轉青溟月、猶作古  
喜樺法師 年三竺者

喜樺法師 世系不詳、知仁腹ノ人、

我唐者都濃辰已志加叙柱世表宇茲山登之

三山  
城守恰  
アリ

人者言李利

古今推事ニ載之、落禪ノ妙、悟於如久、疑が如干ノ如三  
ア、家在匿方、都城外、何人稱呼世曼山、

小野十町 世系不詳、云云、小野良實ノ女云、常侍  
ノ女云、當隆ノ女、諸元命ノ者、

花乃色者、彩里仁氣利那、徒尔、吾身世本狂、

李賀世執志、六林个、

古今 春部ニ載ス、規格徑容、意思曲折、巧妙  
ト云、三、証云、看花誰知轉、世春色頃消長

余門人某、北遊三丁婦、自言、越後三丁ノ苗、墓アリト  
ノ吊詩、又余和、其詞、和又、九三看、一、テ、弟、  
云、高才、逸色、兩難、存、老、後、乞、  
寂、寂、井、宿、寃、荆、東、之、畫

十カ人長  
眺ノ長三三  
長雨通

碑没字、不知何女吊橋也、

蟬丸 世系不詳、仁明天皇ノ時ノ人ナリ、

乃可國、  
京上七葉、  
向三ノリ、

古礼邪古乃往在還生、別礼至者、識生不識生、

隆 百乃國、

後撰、推部ニ載ス、隆及ノ國ニ庵ヲ作リ往来ノ人無常、  
空ナキヲ見テ作リ、逢字ヨリ感ラ発ス、譯文相識、  
客梅未識客、逢来逢去是之逢國、

小野 皇

小野峯守ノ長子、兼和申、藤原常嗣ヲ聘、  
奉使トシテ皇副使ニテリ、常嗣上碓砦アリテ、  
命ヲ發ス、違救ノ答ニテ、隱岐ニ流サル、廿五、聖武二年ハ救テ、  
岸朝ス、

撰津藤成  
ノ沖三ノ十  
餘島アリ、

和田乃原八十首加氣五漕、  
海士乃釣舟、

古今羈縻ノ部ニ載ス、隱岐ニ流サル、舟中ニテ、京人ニ  
寄スル作リ、遠竄所流ノトキ、平生ノ豪氣、女モ不撓、野  
狹ノ狂々ル所、以ニ三ノ十、和歌ノ太白ト云ヘシ、  
云、寄言釣、士者相報、僧出、青、順、八十島、

僧正遍照

俗名良峯、字良火、相、桓、天、白、王、皇、  
子、安、世、ノ、子、仁、明、天、皇、ニ、事、シ、  
崩、七、十、後、僧、上、十、  
遍、照、上、改、ム、

天津凡、雲濃、通路、吹、吾、之、慈、共、乙、女、乃、姿、暫、

之、登、之、女、云、

才女八米  
通女男  
モタヌセキ  
云ノ



ツクハナ  
三ツノ川  
善三帝  
陸ノ名  
野

古今雜記ニ載ス、土師白舞姫ヲ見テ依セリ、巧  
妙ナラハルニ非ス、オノ多ク使ハル、病アリ、イッレ時ノ作  
ルニ、女陵ノ此曲悉ク在天上、人間得難ク、  
回聞ニ據レバ、凡下ニアリト云ベシ

陽成院 御諱メ貞明、情和天皇ノ弟、一ノ皇子、帝馬ヲ  
白基冠コレラニ冠シテ、光孝天皇ヲシテ、陽成院ニ遷  
ス

筑波社乃、峯些里、落留、皆乃川、志氣積利互

閑登太玉尚良云

後撰、志部ニ載ス、兼子内親王ノ鈞殿ニテ、依ナ  
平仲、華ヲツケ、志思オノツト、遠位ヲノ、冠セテ、玉ノ  
ナラ帝王ノ気象アリ、正云、志情偏似筑波水流入  
皆川積成岡

シノハ信  
夫郡、忍

河原元大臣

原融、嵯峨天皇弟十二  
皇子六條河原ノ院ニ住ス

陸奥乃、信夫、蓋草、誰申、惠仁、乱淫尔志

吾奈良邦久余

蓋草、以  
衣ノ莫、操  
花ノ著

古今、志部ニ載ス、衣紋ニ無シ、情思、細心、甚憂、儀  
思ラ、杞キノ、言、温雅、凡流、大臣、胸襟、又思、ナリ、譯  
云、安似、陸奥、蓋草、布、乱淫、相思、萬緒、情

光孝天皇 御諱時、肅、仁明天皇ノ弟、三皇子

君賀多女、春野、亦出、互、若菜、摘、衣、衣、神、本

累雪、八降、里、津、

古今、春部ニ載ス、天子人ヲ君ト呼フベカラズ、仁和  
宮ニ親王ニテ在リキリ作カシ、賜ルメテ賜メテ由奇セテ  
帝始テ親王ヲ礼ラ行フ、ソノナキナキカモ、知ベカラズ、  
升實不彫、忠厚ノ情、人ヲ重カス、云云云云、君  
親、梅、春、野、菜、不、群、罪罪、雪、滿、昔、衣、  
中納言行平、四品阿保親王ノ長子、天長三年、

君心若也、但目山松我、布帛、今、應、婦、身

立別礼、曰、幡乃山、濃、峯、年、生、苗、松、登、志

聞、澤、今、婦、古、云

古今、離別ノ節ニ載ス松ノ一字ニ、深義ヲ含ム、云云、君心念似目山松、我亦昂々、下應婦身、

于ワヤル、  
神ノ杖、  
カラク、  
ハ、  
錦、

流、  
和

在、  
業、  
平

阿保親王ノ弟也、行平ノ弟也、  
中將ト稱ス、萬葉集ヲ撰マ、

千、  
早、  
布、  
苗、  
神、  
代、  
毛、  
聞、  
豆、  
護、  
田、  
川、  
唐、  
紅、  
今、  
水、  
久、  
具

古今、秋部ニ載ス、二條右春宮ニアルキ、尾凡ニ、江江、机机ヲ

画キ、下、雲ニテ、作リ、世ニ、中將ヲ、防治ノ、魁トス、セ、凡、ソノ  
意ヲ、皇宗ズルニ、王室、衰、藤氏、權權ヲ、傍リ、身ヲ、礼  
法ノ、外ニ、オキ、好色ニ、託シ、世ヲ、玩モ、シ、如ク、南、郭  
在、甲將、論、已、コノ、志ヲ、罷ス、下、詔、奇、佐、李、止、志  
牛、鬼、院、神ノ、風、アリ、ニ、タ、ソノ、才、氣、ノ、不、レ、タ、ル、也、三  
云、同、夜、神、世、多、怪、異、未、聞、流、水、鏡、底、  
藤、原、敏、行、  
按、案、使、臣、士、三、葉、ノ、子、畠、士、三、葉、ノ、弟、  
氏、名、百、二、葉、ノ、弟、

藤、  
原、  
敏、  
行

按、案、使、臣、士、三、葉、ノ、子、畠、士、三、葉、ノ、弟、  
氏、名、百、二、葉、ノ、弟、

三三ヨル  
夜ニ  
通ズ

任乃江乃濃岸仁与流佐延与流佐延五夢乃

通路人目群良今

古今悉許寛平ノヒキヤサキノ宮ノ歌合ノ路有  
過テ乃故ラ来ト往ニ繼ニ三テ格ヲ損ズルニ至ル云  
突如怪江緑岸園夢中猶通且送人

伊勢 父ハ伊勢守健隆仁和中入宮享于院ノ  
皇ヲ得皇子挂宮親王ヲ云伊勢カノ御願ト  
稱ス

事  
アミカ  
口ト通ス

謹江都岸短芦乃節乃向生遇傳此世遠表

昭志五与五三邪

新古今悉許ニ載ス頗ル過功ニ備シヒオモニタ及ヒ  
ヤスカラズ宇多帝ノ皇ヲウケルモ宜ナリ云云  
無障也芦草間一生只合口憂死

元良親王 賜成院弟一皇子

和昆奴礼者今波多日離波那由身

表畫五五生逢云登叙思

新古今悉許ニ載ス京極御自心野ニ遣ス作ナリ赤  
情託出ス好色親王ノ本色ト云ベシ云云只今衣  
合為情死身似離波潭標木

素性法師

初名三利遍照在俗ノトキハ遍  
照出家ノ後ハ素性ト云モシラ薄

ミラツクミカ  
身ヲ尽ミ  
標ニ通ス川  
立ル枕ナリ

因テ書云利ヲ送り遣ス、遍照出家セシメテ、素  
性ヲ給ス、

十月八日、  
夜ノ長キ  
トキ、  
上キ、  
ナリ

○今来云登之、言志計今、長月乃在明懷、  
月表待壽、以津流可那、

古今悲部ニ載ス、素性父ノ遍照ニ似テ、  
於散朗、又六十丁唐人詩、月西相下ノ意ナリ、  
正言今来トシ、  
文屋、  
皇十二品長ノ後下、  
皇十二品長ノ後下、

飄木零草吹愈烈、宜哉山風吹為嵐、  
吹加良尔、汝乃草木乃志、  
山風登之云良尔、

古今秋詩ニ載ス、字義ヨリ、  
思權一アルニ、ニアルハラズト、  
草吹愈烈、宜哉山風呼作嵐、

大江千里、  
音人ノ千、大江姓ハ平城天白王ヨリ  
出阿保親王ノ後ナリ、モト大江音  
人表ニテ大江ノ字ヲ用ユ、

○月看礼等、知今物古曾、悲志計礼吾、  
身世一、  
秋仁者有良、  
身世一、  
秋仁者有良、

古今秋部ニ載ス、通儒ノ自月次想フベシ、  
乐天が莖子樓中霜月夜、秋来唯乃一人長ヨリ  
变化ニ来止ト、未ダ必ニ七然ラズ、  
百感生、秋色不乃一人保、

今ノ千、  
般ナリ、

菅家

名道實字三參後是善ノ野三子  
事進人ト詳ニ知ルトモ菅家孫姓モト土師  
居目テ菅家ト改メ

子并ハ神  
世フル幣

此度者常生重利阿延受午向紅葉乃錦

神乃麻仁ト

隨言ノ  
子并

古今羈旅ノ詩ニ載ス朱雀院ノ南都居ヨフトキ  
午向山ニテ咏テ三子リ君駕ニ侍ス謹嚴最重  
如此ナルベシ初菅盛ニ唐花御衣ノ詩ニ但多記云  
身侍鳳羣翅面幣且執楓錦供神覽

三條院大臣

名定方内大臣定方ノ二子三勸修  
寺家ノ祖ナリ

名仁志於彼逢阪山乃實加豆良人余知礼臣

久留与志生賀奈

後撰集志部ニ載ス巧ニシテ織ナラズ人工ノ至  
ルルモノト云ベシ此云名乃逢阪應有駿俊  
佐實葛蔓志君菜

負信公

名忠平大政大臣孝詮ノ四子時平ノ  
弟ナリ

小倉山峯乃紅葉三意阿良良今一度乃

兩幸待那云

捨遺集雜部ニ載ス高子院大檀河ニ御幸  
アリ行幸毛有又ベト言レ三ニツキテノ作テ實事直

乃阪山ハ  
江ノ名所  
サキカラス  
五味子  
ト云ニテ實  
借ラ合ム又  
白癩ルササネ  
ト云フ

大  
小倉山ハ  
山城ノ名所  
大檀河  
上ニアリ

真叙自然佳境三九云云山倉山相君有  
意暫留輝色待行幸

中納言垂輔勅從寺良右中將利基ノ子勸  
從寺良門ノ孫ナリ

三加濃草和茂互流苗泉川伊豆美茂

登互加意志加苗良乎

新古今無詔載不汝知人全ク沈没セザル  
ア云三箇原上湧水泉未見病葉并

何志是

降宗干一品皇孫ナリ  
皇孫ナリ親王干老奉天皇ノ

山里者冬叙淋志佐勝利計里人女毛草干

カハハ離  
ノ意ナリ

枯登之思延深

古今冬身載又軒叙去人メ毛草干倭合  
巧妙カラ費サズト云ニ云山村冬怪陪寔  
寔ノ菊尽机残無人看

九河内躬恒良高ノ子ト身ニテ食セ凡歌  
名一世ニ振フ九河内ノ姓ハ天  
津彦根ノ命ヨリ出ツ河内ノ國造ノ子孫ナリ

津彦根ノ命ヨリ出ツ河内ノ國造ノ子孫ナリ

心当本折安屋折云初霜乃置麻栉和氣

流白菊乃花余喜用所恒氏意味白菊云  
寒蟬声知曉如朝曙曉氣後ノ

月夜斜輝取中夜霜色底折来白菊一枝花

新古今初詔載又白菊ノ神宮之皇化子葉

コヒロアス  
心ニ推シ  
スルナリ  
初季ノ  
初季ノ  
初季ノ

云ベシ云云 櫻心只許暗折取 花色霜克  
西雅舞

壬生忠見 初父世孫不詳 壬生ノ姓ハ天竺  
彦回押人ノ年ヨリ出ス

在明乃都礼奈 見江志 別礼里 曉望

加里 夏生乃和奈志

古今志部ニ載ス 情含テ 舞伴ニ墮ス 高等ト  
云ヘシ 正云 曉月 無情空相別 毎對曉月更  
生憂

阪上是則 母陰ノ子 田村唐四世ノ孫ナリ 後漢  
邦ニ帰化ス 阪上ノ姓ヲ賜フ

朝開氣在明乃月 登之登之 見流麻傳今 芳野乃

里布礼苗白雪

古今冬部ニ載ス 是日常每ニ有リ 七尺 如此言取  
テコソ 躍然名 崎乃冷絶 柳子厚ノ詩ニ似タ  
リ 正云 朝開 只訝月猶在 芳山雪光入 蓬  
明ナリ

春道列樹 雅樂頭 親名ノ長子 春道ノ姓ハ  
貞觀中物部門起ニ賜フ

山河仁風乃加氣多流 柵者奈夏礼生阿延奴

紅葉那里生利

古今秋部ニ載ス 志賀ノ山歌ニテノ 咏ナリ 遠眺ノ  
景 悦ヒシテ 目ニ在カ如シ 正云 舖將墜 葉不

ツレナクハ  
何トモ思ヘヌ  
ト平書  
空持ナリ  
十九

子ホラケ  
夜明ナリ  
古八朝出  
船ノリニ用  
氏後世カ  
ナラズミモ  
拘ス

三カニヲミ  
何柵竹  
紫杯ヲカ  
ラミテツ  
クルナリ

流花風巧穿瀛洲柵

紀友則有常ノ子銀武内宿禰ノ後

此サカタノ天ノ枕舞

散良舞

古今春部ニ載ス櫻花ノ散ラ呼ス靜中ニ動ラ  
言辭古温篤絶作ト云ベシ然レ凡昔人ノ風  
空之花猶落ト云ニスレバ一塔ヲ梅ヲ隣ルカ云  
春日温和清晝寂落花何意趁凡世  
藤原貞風相模探道成ノ子冬ニ浅原各孫不  
廣名天書和歌或基少ノ者ア  
誰表加毛知當人今勢年高砂乃松毛昔乃友  
タカサゴハ

播磨名所

那良無余

古今雜部ニ載ス松ラ以テ自比ス地歩ラ占テテリ神  
骨キハメテ高シ歌中ノ女陵カ云云老耒不恨一身  
孤高松千年後伴祖

紀貫之

中納言行ノ子長谷雄ノ孫ナリ歌名世ニ  
高ク且ツ和支ヲ作り給テ最ソノ妙ラ云アリ

人者伊射心知豆古里者花叙昔乃香余

薫計留

者主区受ニ云花ダニモ曰心ニサクモノヲ  
植ケシ人十心シラレシ

古今春部ニ載ス長谷ノ觀音ニ實ス毎ニ宿スル

一止宿モセラズト云シニ各々テ庭前ノ梅ヲ折テ呼セシトナリ  
辞清ニ意婉梅花ト云且齋ヲ曰フスト云ベシ云云



未知人心与時改、三喜梅花依舊香

清原匡養父

筑前久房則ノ子、筑前久海雄ノ孫ナリ、清原ノ姓、舍人親三ヨリ出ス

冬乃夜者未陀初夜宵亦那賀良明如苗表曙雲乃

何仁月山苗良云

ヨイハ初夜ナリ初宵夜ニ曙ルト云長夜ノ短ナリ

古今、冬、節ニ載ス、若、辞、去、新、ヨク、短、夜、ラ、状、ス、云、夜、猶、未、央、天、已、曙、何、處、曉、雲、宿、月、魂、文、屋、朝、康、父、初、不、詳、或、云、康、秀、ノ、子、ナリト、サモ、アル

白露乍風乃吹布、秋濃野者、母見哉、苗女、珠釵

散計苗

後、匿、集、秋、節、ニ、載、ス、賦、且、早、ノ、歌、平、ニ、ナリ、易、ニ、此、等、巧、カ、重、疊、上、集、ニ、度、次、ト、云、ベ、三、正、云、秋、凡、吹、露、花、白、露、断、散、乱、滿、野、珠

右近

父ハ右近女將、權、中、ナリ、七、條、ノ、后、權、子、ノ、官、女

遺良苗、身表婆思者、傳盛傳志、人乃命切

惜久生有烟那

拾遺、意、節、ニ、載、ス、忠、厚、ノ、情、ラ、不、失、各、風、ノ、意、ハ、リ、悲、歌、ノ、体、ヲ、得、ク、云、云、若、書、傳、命、猶、憐、君、背、誓、惡、難、免、冥、謫、昔、身、不、忘

參議等

原、希、ノ、子、嵯、峨、天、皇、ノ、皇、子、大、納、言、加、ノ、孫、ナリ

丁丑シヲノヲハ  
生ルノ事  
傳ノ和而  
申ノ人後  
三ノ五ノ通ス

浅茅乃、小野隈、篠原、忍礼、栉、餘、至、奈、栉、加、  
人乃、志、志、哉、

後撰集、志部、載、不、情思、含、三、番、  
伊、抄、云、野、茅、影、  
情思

平兼盛 大宰少貳、篤行ノ子、光孝天皇ノ皇子、子、是、忠、親王、曾孫ナリ

○ 忍礼、栉、色、仁、出、本、計、利、我、意、者、物、也、思、布、登、人、乃、

向麻傳、

拾遺、甚、奇、載、ス、天、曆、最、合、己、ノ、作、ナリ、唐、詩、其、句、  
脣、董、金、緩、一、寸、逢、人、指、道、不、相、思、此、上、同、工、異、曲、ト

